

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室 担当職員 山末 達也
日 時		令和2年2月14日(金曜日)		開 議 午後 3時 30 分 閉 議 午後 4時 09 分
出席委員		◎小川 ○三上(広報部会長) ○赤坂(広聴部会長) 浅田 大塚 木村 三宅 松山 (欠席:富谷)		
事務局 出席者		井上次長、船越副課長、山末主査、山内主事		
傍聴	可	市民0名	報道関係者 0名	議員 0名(-)

会 議 の 概 要

15 : 30

[小川委員長 開議]

1 広報部会活動

(1) 議会だよりについて

○No.184の編集

[三上副委員長 説明]

- ・議会だよりNo.184は、4月30日発行、5月1日全戸配布予定である。
- ・議会だよりNo.183では、タイトルロゴや表紙写真に市民の作品を使用した。今後とも市民の議会だよりに対する思いを参考にしながらよりよい紙面にしていきたい。
- ・本日から広報部会で編集作業を行っていくが、各委員の感想や市民からの意見があれば聞きたい。

<赤坂副委員長>

前回の議会だよりの表紙は非常によかった。表紙写真の下に説明が小さく書かれていたが、もう少し大きい方がよいのではないかという意見を市民から聞いた。以前にも言ったが、クロスワードパズルがあった方がよいという意見も聞いている。また、これは私見だが、表紙をめくると最初にしんがくんが登場するが、しんがくんを知らない人も多いと思うので、もう少し途中のページで登場させるべきではないか。

<松山委員>

表紙について、掲載内容がよくわかるようインデックス等を工夫してはどうかという意見を聞いた。

<三上副委員長>

参考にしたい。スペースの問題もあるが、インデックスを週刊誌のような形にしてもよいと思う。しんがくんを掲載してくれてありがたいという意見も中にはあるが、もう少し説明をしていく必要があると思う。明智かめまるとの露出の差をつくることなども含めて検討していきたい。また、千代川町自治会とのわがまちトークにおいても議会だよりに関するアンケートを行っているので、その集計結果も参考にしていきたい。

<赤坂副委員長>

千代川町自治会とのわがまちトークは、新たな試みとしてグループディスカッショ

ン形式で行ったので、その内容や写真を大きく取り上げてもらいたいと思う。

<三上副委員長>

No.184は予算特別委員会の特集記事もあるため大きなスペースを捻出することは難しいかもしれないが、P2（議会と一く）の中で紹介するなど工夫したい。

2 広聴部会活動

(1) わがまちトークに係る意見、要望について

[赤坂副委員長 説明]

・2月8日に千代川町自治会で開催した、わがまちトーク（自治会版）での意見等の内容について確認いただきたい。

<大塚委員>

No.3について、所管に環境厚生常任委員会が含まれているのはなぜか。

<赤坂副委員長>

不法投棄についての内容があるため所管に入れている。

<三上副委員長>

今回、たくさんの意見やアイデアを出してもらったという形に大きく変わったが、この意見・要望等の様式は議会報告&わがまちトークの頃から変わっていないと思う。以前は議会からの報告に対して質疑を行っていたため、それでよかったのかもしれないが、現在のやり方では、議員から回答できない内容も多い。今回のわがまちトークのやり方を生かしていくには、この様式そのものを変えていくべきではないか。

<大塚委員>

地域の課題に対して皆で考えていくためのものであるため、それぞれの所管に分ける必要もないと思う。

<赤坂副委員長>

私も同じ考えである。参加した議員はグループトークの中でいろいろな意見を聞く。それを持ち帰り、議会の中で情報を共有し、活動の参考にしていけばよいと思う。

<小川委員長>

様式については、現在の方式と合わない部分もあるので、変更していかなければならないと思う。今回はこのような形でまとめるが、今後、広聴部会で検討していただきたい。

<赤坂副委員長>

わがまちトークの実施方法等について、広聴部会でさらに検討を進めていきたい。また、今後のわがまちトークについて、昨年までに全ての自治会を回った時は、否定的な意見ばかりであったが、議会だよりで記事を掲載してもらったり、営業活動を進める中で、少しでも多く自治会や各種団体との意見交換を行っていきたいと考えている。また、教育委員会と連携をとって小・中学生との意見交換を行ったり、委員長と副委員長で営業を行って高校生や大学生との意見交換を行うなどして学生とのコミュニケーションをとっていきたいと思っている。なるべく多くの意見交換会を開催できるよう努めていきたいと考えているので、よろしく願います。

<三上副委員長>

これまで積み上げてきた部分もあり、勝手に変えられない部分もあると思うので、議会運営委員会で提案し、意見をいただきながら取り組んでいけばよいと思う。

<小川委員長>

今後、議会だよりやわがまちトークの令和2年度の活動方針等の広報広聴会議の活

動を議会運営委員会に報告していきたい。全体を通して意見はあるか。

<大塚委員>

千代川町のわがまちトークにおいて、小林区長から、電柱に通学路の看板を設置してもらいたいと教育委員会に言っているが、その回答が全くないという話を聞いた。これについては、私個人から回答するのではなく広報広聴会議から回答すべきと考えるがどうか。

<赤坂副委員長>

地元議員である松山議員に内容を伝え、調整いただいている。

<松山委員>

要望があったことを伝えたところ、現場を確認し、電柱の所有者である関西電力やNTTと協議して看板を設置していくとのことであった。区長にも報告しておく。

<小川委員長>

そのようなやり取りがあったことは私にも伝えておいてほしい。他に意見はあるか。

<三上副委員長>

2月特別議会で委員が変更になったこともあり、今後、これまでの取り組みの共有や、新たな委員からの意見を聞く機会があればよいと思う。

<松山委員>

先ほどの要望の件について、以前から聞いていた話であり、私も把握していたが、今回のわがまちトークで改めて話が出てきたものである。

<小川委員長>

新たに委員となった三宅委員、浅田委員から何か意見はあるか。

<三宅委員>

昨年の活動を見ていていろいろな思いがある。前向きに取り組んでいきたい。

<浅田委員>

しっかりと勉強して全力で取り組んでいきたい。

<三上副委員長>

千代川町でのわがまちトークの経験を生かして、皆がどこでも気軽に話せる場所づくりに取り組み、そこで出た意見をそれぞれの議員活動や議会活動に生かされているということが認知されてくれば、わがまちトークを行いたいという自治会も増えてくると思う。また、各自治会等に営業に行くことについて、広報広聴会議として行っているのでも、事前に報告しておかなければ、誤解される場合や反発を生むことも考えられる。道中で事故に遭った場合にかどうするのかという問題もある。本来であれば交通費も出すべきなのではないかと思う。

<小川委員長>

議会の中で情報共有を行い、足並みを揃えて取り組んでいきたい。

<副課長>

意見・要望等の所管については、資料のとおりでよいか。

<大塚委員>

No.2に環境厚生常任委員会も含めるべきだと思う。

<小川委員長>

No.2に環境厚生常任委員会を含めることとしてよいか。

—全員了—

<小川委員長>

それでは、各委員会において対応を協議いただくこととしたい。

<三上副委員長>

今回のわがまちトークでは、4つのグループに分けて行ったため、他のグループでよい意見やアイデアがあってもわからない。内容を所管の委員会で吟味することよりも、全ての意見をまとめたものを全議員に渡すことの方が大事なことはないかと考える。検討願いたい。

<赤坂副委員長>

そのようにしたい。

3 その他

(なし)

散会 16:09